

～障がい者の就労促進！ 農業の働き手の確保！～
「置賜地域農福連携現地視察研修会」の開催について

標記研修会を下記のとおり開催しますので、当日の取材についてよろしくお願いします。

1 開催目的

置賜地域における農福連携の取組の促進を図るため、農福連携の実践事例を障がい者就労事業所職員、農業者及び市町担当職員等が視察する機会を設け、農福連携の現状や今後の可能性について理解を深めていただくもの。

※農福連携は、農業と福祉が連携し、障がい者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障がい者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組
※現地視察研修会は令和元年度から実施しており、今回で7回目

2 主 催

山形県農福連携プロジェクトチーム置賜地域部会

※農福連携を推進するため、県内4地域毎に部会を設置。置賜では、地域保健福祉課長を部会長に、JA山形おきたま、置賜障害者就業・生活支援センター、各市町（農林、福祉）など22名で構成。

3 開催概要

（1）日 時

令和7年11月6日（木）9:30～12:00

※参加者は置賜総合支庁本庁舎に9:30までに集合し、バスで移動

（2）場 所

①就労継続支援事業所L e a p（リープ）（川西町大舟 988-4）

②農園 成（なる）（米沢市窪田町内の圃場）

（3）参加者

置賜管内の障がい者就労事業所の職員、農業者、各市町担当職員等 約20名

（4）内 容

①L e a p：清涼飲料水の製造等の視察 及び 取組内容の説明

〔取組の特徴〕置賜地域の民間企業と連携し、ウコギを使用したクラフトコーラの製造を手掛け、注目を集めている。地元農家と連携したさくらんぼやリンゴを使用したクラフトコーラの製造等、取組は拡がりを見せている。

②農園 成：就労継続支援事業所ラ・ヴェリタ利用者による農作業の見学 及び 委託側・受託側双方からの取組内容の説明

〔取組の特徴〕農園からの依頼に対し、事業所側は作業の工夫を重ねる等の努力で依頼を「やりきる」ことで農園からの信頼を得ている。農園と事業所が意思疎通を図り、双方がウィンウィンとなる農福連携を目指している。

（5）その他

上記（2）②については、農作物の生育状況等を踏まえて見学圃場を決定するため、取材いただける場合には事前に下記問合せ先まで御連絡くださるようお願いします。

問合せ先

保健福祉環境部地域保健福祉課

課長補佐 安久津 繁実

T E L 0238-27-1487

広報監

総務企画部長 小林 直樹